

練馬区立開進第一中学校

開進一中だより

平成26年度 第2号 発行日：平成26年5月23日(金)

社会で生きる基礎力を身につけよう

校長 古山 真樹

連休明けから、君たちの授業の様子を見学していますが、どのクラス、どの生徒も一生懸命授業に取り組む姿を見てうれしく思っています。また運動会練習が始まって、気合いと意欲を持って練習に打ち込む姿もすばらしいものがあります。当たり前のことを当たり前に行うことが大切なことです。

中学生の本分である学習に真剣に取り組むと同時に、学校行事、委員会・係活動そして部活動に打ち込むことで、総合的な君たちの人間力を高められるように中学校の教育活動はできています。こうした様々な活動を通じて、知・徳・体をバランスよく向上させて、社会に有用な人として育ててほしいと願います。そこで、あえて中学生の君たちに示したいものがあります。

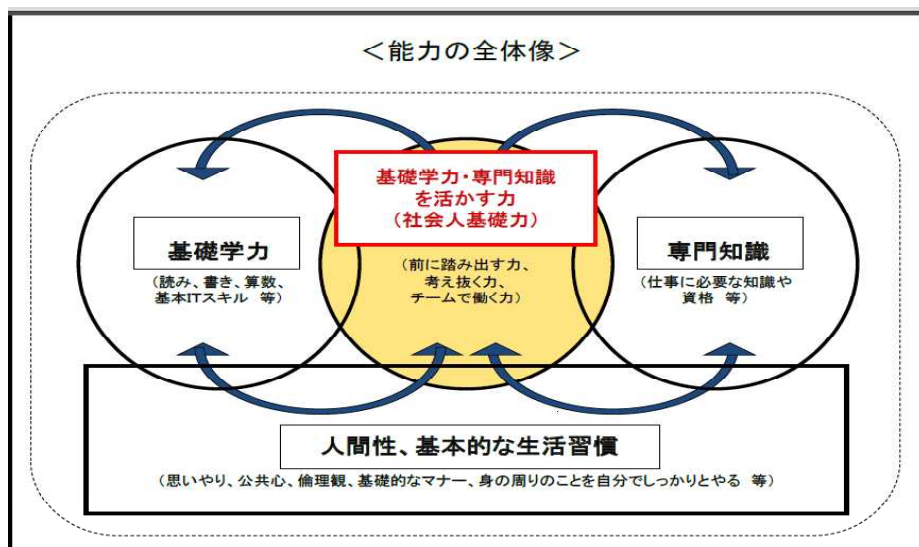
経済産業省では、職場や地域社会で多くの人々と仕事をしていくために必要な力として、次の3点を「**社会人基礎力**」と位置づけています。つまり社会人として必要な力です。

- ・「前に踏み出す力」 (アクション)
- ・「考え抜く力」 (シンキング)
- ・「チームで働く力」 (チームワーク)

「前に踏み出す力」とは、実行力です。何事にも進んで取り組み、失敗を恐れずチャレンジし、失敗してもなお粘り強く努力し続ける力です。「考え抜く力」とは、疑問を持ち、課題を明らかにして、その課題解決に向けて計画を立てたり工夫したりして、新たなものを見いだしていく創造力です。「チームで働く力」とは、自分の意見をわかりやすく相手に伝え、また相手の意見をしっかりと聞き、意見や立場の違いを理解した上で、ルールや約束に従って目標に向けて協力し合う力です。

さあ、皆さんはどう感じましたか。けして難しいことではないですね。仕事を通じてのことですから、専門的な知識と教養はこれから高校や大学で学ばいいことです。それ以外は、君たち中学生のうちからできることです。授業でしっかりと基礎学力を身につけ、学校生活の問題を話し合いで解決したり、自分の役割を成し遂げたり、仲間と協力する中で、人として当たり前のマナーや思いやりを持つことです。ぜひ、中学生のうちの一つでも多くの社会人基礎力を身につけていきましょう。

右の図は「経済産業省ホームページ」よりの転写引用



運動会まであと1週間！

5月31日（土）の運動会まで、あと約1週間となりました。今週から本格的に練習も始まり、まさに運動会ムード一色。ここで、開進第一中学校の運動会の一部を紹介します。

学年種目

1年 いかだ流し

各クラス男女1名ずつが「船頭」となって、クラスメイトの背中を走ります。船頭さんのバランスと、クラス全員の素早い動きが勝負の分かれ目。中学校に入学して初めての大きな全校行事。まだまだかわいらしさの残る1年生の学年種目です。



2年 大縄跳び

単純なだけに、意外に難しいこの競技。クラス全員で心をつにして、大縄をひたすら飛び続けます。制限時間内に、連続何回飛べるかを競います。みんなで声を合わせ、一本の縄を懸命に跳ぶ姿をご覧ください。

3年 大ムカデ

そして、最高学年である3年生の学年種目は、大ムカデです。女子から男子へと、リレー形式で競います。中学校最後の運動会に賭ける3年生のたくましさ、クラスの結束力の勝負。今年はどんなドラマが待っているか、お楽しみに。



演技種目



女子 よさこいソーラン

男子 組体操

何と言っても開進第一中学校の運動会、一番の見所は全校女子のよさこいソーランと、全校男子の組体操です。毎年いろいろな趣向を凝らしたダンスを見せてくれる女子のよさこいソーラン。3年生が中心となってダンスを創作し、昨年度は見事に『華』という文字を校庭いっぱいに咲かせてくれました。今年は果たして、どんなダンスになるのでしょうか。

そして、男子の組体操。特に後半、男子全員でつくる『大技』は、まさに圧巻です。昨年度建てることのできなかった五段タワーを、果たして今年成功させることができるか。痛さや怖さをこらえ、歯を食いしばって必死に取り組む男子の姿を是非ご覧ください。